

# レースクロックⅡ

**NISHI**

## 取扱説明書

**品番：NT7504B**

このたびは本品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

ご使用になる前に必ず本取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。

なお、お読みになった後は大切に保管し、必要なときにお読みください。

### ● オプション

#### ○NT7502 電子音シグナルセット

本品にスタート信号を入られます。

フラッシュの発光、電子音でのスタート合図が出せます。

構成：ピストル

ポータブルスピーカー

ピンマイク

ケーブル約1.5 m

(ピストル⇄ポータブルスピーカー)

キャリングバッグ

#### ○NT7503 クロックセンサーセット

本品にスタートまたは、ストップ信号が出せる光電管です。

反射式を採用し、電源は本品から供給されます。

構成：クロックセンサー(10mケーブル付き)

反射板

三脚

反射板固定金具

#### ○NT7505 スタートシグナルケーブル(10m)

電子音シグナルセットのピストルからのスタート信号をレースクロックⅡに入力するときに使用します。



#### ○NT7506 シグナルケーブル(100m)

#### ○NT7507 シグナルケーブル(20m)

電子音シグナルセットやクロックセンサーの信号を本品に入力するときに使用します。

計測環境に合わせて長さを選んでください。



NT7506



NT7507

### ■ はじめに

本品は、学校体育やトレーニングなどに使用する簡易タイマーです。

表示にLEDを採用し、屋内外問わず高い視認性を確保しています。当社製品「電子音シグナルセット(NT7502)」、「クロックセンサーセット(NT7503)」などと組み合わせると、計測精度が向上します。

### ■ 仕様

サイズ：約(W)520×(L)58.5×(H)138 mm

重量：約 1076g(付属品、ケーブル類を除く)

表示文字サイズ：(W)450×(H)100 mm、6桁、緑色LED

材質：ABS

電源：DC12V ACアダプター付き

使用環境条件：温度 0~50°C、湿度 10~90%

構成：表示盤本体

操作用リモコン×1台

ACアダプター×1本

取扱説明書×1部

台湾製

※操作用リモコンに付属している電池はテスト用です。

使用できない場合、新しい電池(CR2025 3V)と交換してください。

※外観及び仕様は、改善のため予告なく変更することがあります。

#### お問い合わせ

商品には万全を期しておりますが、万一不具合やその他ご不明な点などございましたら、ご購入店または弊社お客様相談室までお問い合わせください。

なお、輸送中に発生した異常や破損は賠償保険の対象になり、運送会社の証明が必要です。

#### 株式会社ニシ・スポーツ お客様相談室

〒136-0075 東京都江東区新砂3丁目1番18号

TEL: 03-6369-9024

受付時間：9:00~12:00/13:00~17:00

(土日、祝日及び弊社都合による休日を除く)

URL: <https://www.nishi.com/>

**注意すること**

- リモコン操作は、本品から5 m以内で行ってください。
- 雨天時は、ビニールを被せるなどの対策を行い、濡れないようにご注意ください。

**してはいけないこと**

- 本来の用途以外で使用しないでください。
- 本品を屋外に常設することや、水没するおそれのある場所には設置しないでください。感電や火災の原因となります。
- 付属ケーブル以外はご使用にならないでください。焼損や故障の原因になります。
- ケーブルをキズつけたり、加工したり、重いものを載せたり、無理に曲げたりしないでください。感電や事故の原因になります。
- 電源ケーブルは必ず伸ばした状態でご使用ください。発熱・発火・火災の原因になります。
- 濡れた手でケーブルのコネクタを抜き差ししないでください。感電するおそれがあります。
- 本品の分解、改造は行わないでください。
- 屋外、高温、多湿、直射日光の当たる場所、ホコリの多い場所には保管しないでください。

**必ず行うこと**

- 煙が出たり、異臭がするなどの異常が発生したときは、すぐに電源スイッチを切り、コンセントから電源ケーブルを抜いてください。そのまま使用すると、感電や火災の原因になります。
- 本品の内部に金属ピンなどの異物を入れしないでください。万一、これらが内部に混入した場合は、速やかに電源スイッチを切り使用を中止してください。そのまま使用すると、感電や火災の原因になります。
- 平坦な場所を選び、風圧、接触、振動などで本品が落下しないように設置してください。落下すると事故に至ることがあります。
- ケーブルを抜き差しするときは、電源スイッチを切ってから行ってください。
- 本品に亀裂、裂け目など破損がないか、ご使用前に点検してください。もし異常があった場合は、使用しないでください。
- 本品を屋外に放置しますと故障の原因になりますので、使用しないときは必ず雨などが直接当たらない場所に保管してください。
- お子様の手の届かない場所に保管してください。
- 汚れは、やわらかい布で拭き取ってください。

**■ 点検について**

ご使用前に、下記点検表にもとづき、点検を行ってください。

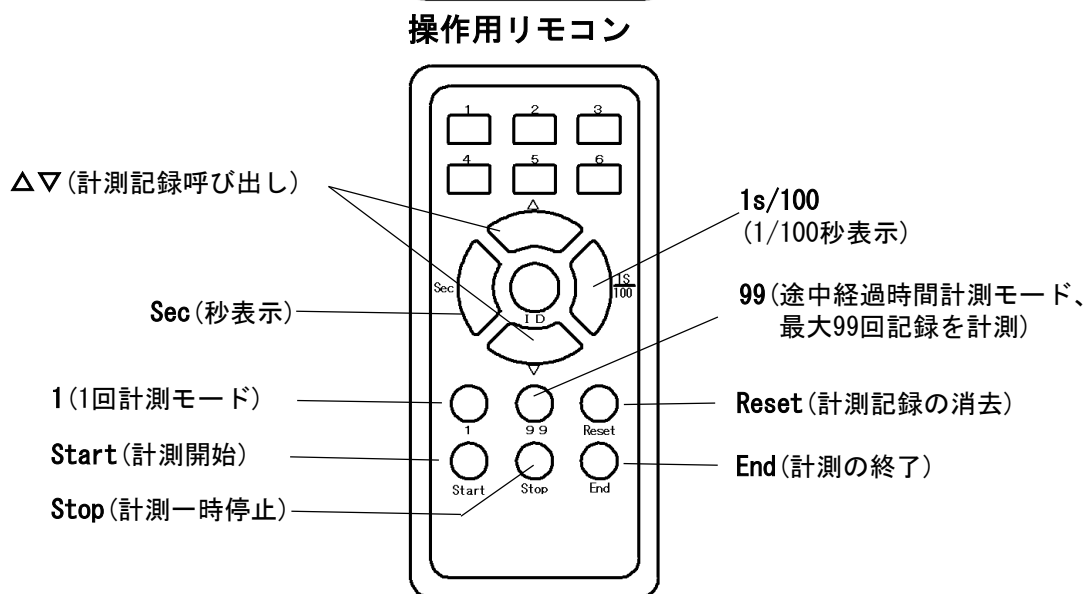
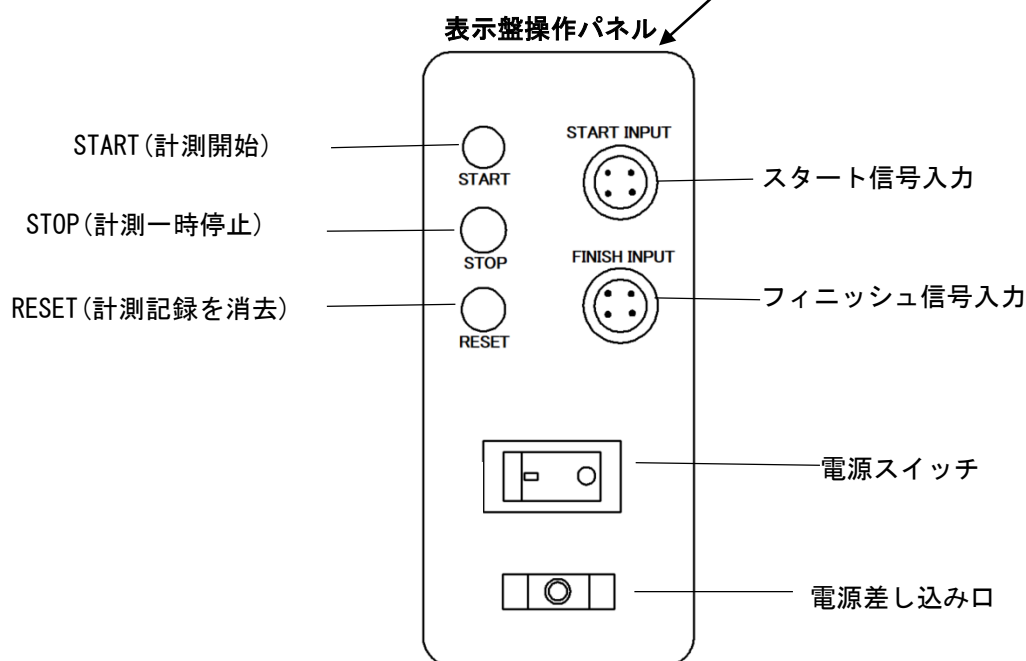
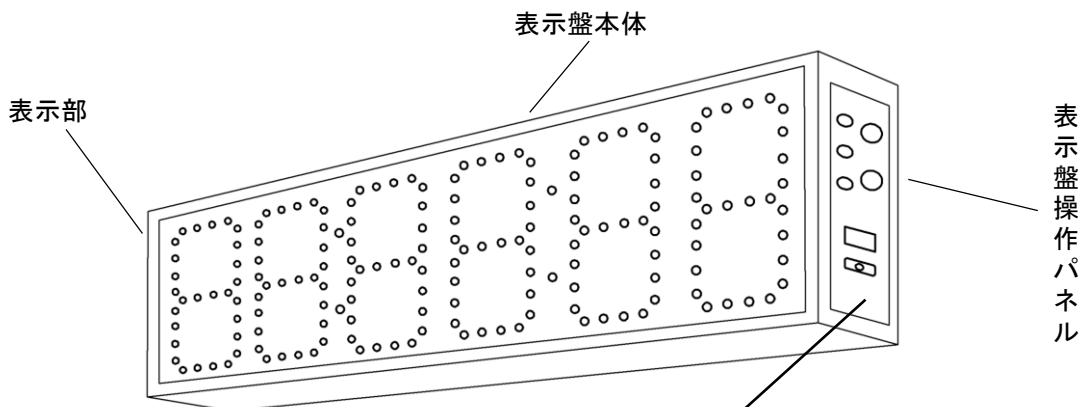
項目	内容
本体、接続部	破損、変形、緩み、ガタツキなどないか
操作部	破損、接触不良などないか

**■ 廃棄について**

本品の廃棄に関しては、地域で定める条例に従ってください。

## ■ 各部の名称

### 本体



※記載のないボタンは使用しません。

## ■ 使い方

本品は、表示盤操作パネルまたは、付属の操作用リモコンで操作できます。  
また、オプション品を接続し、さまざまなトレーニングに使用できます。  
このページでは、表示盤操作パネルや操作用リモコンを使用した例を記載します。

### (1) 電源の投入

- 電源差し込み口に電源ケーブルを差し込み、プラグ側を近くのコンセントに差し込みます。
- 電源スイッチを ON にします。
- [Id0 - 01]**が瞬間表示されます。**[Id0 - 01]**は、**都度計測モード**です。
- 表示部が**[0.00]**になり、計測できるようになります。
- ※電源投入直後の表示が**[0.00]**は、1/100秒表示です。

### (2) 1回計測

#### ① 表示盤操作パネルを使用

- [Reset]**を押し、表示が**[0.00]**になっていることを確認します。
- 合図と同時に**[Start]**を押し、計測対象者が計測場所に到着したら**[Stop]**を押します。
- 表示されたタイムを確認後、**[Reset]**を押し、初期表示に戻します。

#### ② 操作用リモコンを使用

- [Reset]**を押し、表示が**[0:00]**または**[0.00]**になっていることを確認します。  
**[0:00]** = (Sec) 秒表示、**[0.00]** = (1s/100) 1/100秒表示です。  
この切り替えは動作中でも可能です。
- [1]**を押して表示**[Id0 - 01]**を確認します。
- 合図と同時に**[Start]**を押し、計測対象者が計測場所に到着したら**[Stop]**を押します。
- 表示されたタイムを確認後、**[Reset]**を押し、初期表示に戻します。

#### ③ ①②共通

- [Stop]**を押した後に再度**[Start]**を押すと、停止した時間から加算されます。  
例 9:96で停止した場合、9:96から再開します。  
→再開後のタイムは**[▲(+1)]**・**[▼(-1)]**ボタンで確認できます。  
確認はStop時またはEnd時のみ行えます。  
1回目に停止した時間を確認するには▼を押し01表示の後停止した時間が表示されます。  
2回目に停止した時間を確認するには▲を押し02表示の後停止した時間が表示されます。  
3回目以降は▲を押し03、04表示の後に時間が表示されます。  
前の時間を確認するには、▼を押すことで前の時間が表示されます。

### (3) 複数回計測や途中経過時間（スプリットタイム）計測

※この操作には、表示盤の設定変更が必要です。本体設定には、リモコンを使用します。

#### ① 本体設定

- 操作用リモコンの**[99]**を押したときに表示が**[Id0 - 99]**になっていることを確認します。

#### ② 表示盤操作パネル、操作用リモコン共通

- [Reset]**を押し、表示が**[0:00]**または**[0.00]**になっていることを確認します。  
**[0:00]** = 秒表示、**[0.00]** = 1/100秒表示です。この切り替えは動作中でも可能です。
- 合図と同時に**[Start]**を押し、計測場所に到着したら**[Stop]**を押します。
- 瞬間的に表示されたタイムは、途中経過時間です。
- 自動的にスタートからの経過時間が表示されます。（最大99回計測できます。）

#### ③ タイム確認

- [Stop]**を押し、続けて操作用リモコンの**[End]**を押します。
- リモコンの**[End]**を押し、**[▲(+1)]**・**[▼(-1)]**で通過した順番の記録が確認できます。  
1回目のラップタイムを確認するには▼を押し01表示の後、最初の途中経過時間が表示されます。  
2回目のラップタイムを確認するには▲を押し02表示の後、2回目の途中経過時間が表示されます。  
3回目以降は▲を押し03、04表示の後に時間が表示されます。  
前の時間を確認するには、▼を押すことで前の時間が表示されます。
- [Reset]**を押すと計測した記録はすべて消去され初期表示に戻ります。

### (4) 表示切替

※この操作は、表示盤の設定変更が必要です。本体設定には、リモコンを使用します。

- ① 操作用リモコンの**[sec]**を押すと秒表示、**[1s/100]**を押すと1/100秒表示になります。

## ■ 拡張機能

このページに記載している使い方を行うには、7ページに記載のオプション品をご準備ください。

### (1) スタート信号を自動入力し、停止は手動で行う場合

#### ① 準備する物

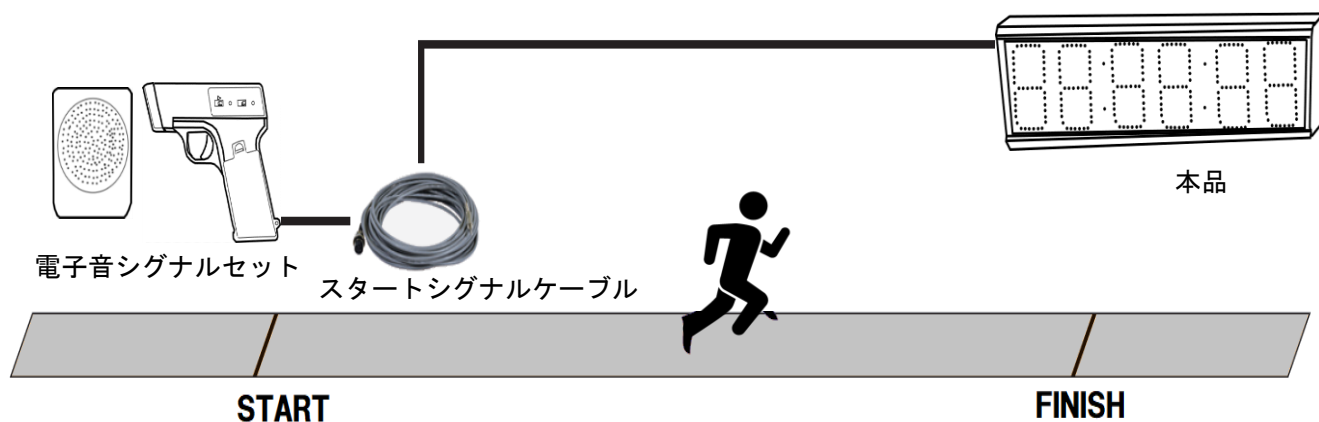
- 本品、「電子音シグナルセット (NT7502)」（別売り）「スタートシグナルケーブル (NT7505)」（別売り)
- 走者に対し、電子音シグナルセットのピストルの電子音とフラッシュの発光でスタート合図をします。  
表示盤操作パネルでも操作可能ですが、ここではリモコンを使用した操作をご紹介します。

#### ② 機器接続

- 電子音シグナルセットのピストルの信号出力に、スタートシグナルケーブルのピンジャックを接続します。  
反対側は、本品の[START INPUT]に接続してください。
- ※ スタートシグナルケーブルは10mです。  
ピストルと本品が離れている場合、別途シグナルケーブルが必要になります。  
詳しくは、電子音シグナルセットの取扱説明書をご覧ください。

#### ③ 使い方

- リモコンの[Reset]を押し、表示が[0:00]または[0.00]になっていることを確認します。
  - [1]を押し、表示[Id0 - 01]を確認します。
  - 電子音シグナルセットのピストルの引き金を引くと、本品の計測がスタートします。
  - 計測対象者が計測場所に到着したら、操作用リモコンの[Stop]を押しします。
  - 表示されたタイムを確認後、[Reset]を押し、初期表示に戻します。
- ※ すべての機器を接続してから、表示盤の電源を入れるようにしてください。  
最初に表示盤の近くでそれぞれ機器を接続し、動作を確認してから目的の位置に設置してください。



## (2) スタート信号とフィニッシュ双方自動で行う場合

### ①準備する物

- 本品、「電子音シグナルセット (NT7502) 」(別売り) 「スタートシグナルケーブル (NT7505) 」(別売り) 「クロックセンサーセット (NT7503) 」(別売り)
- 走者に対し、電子音シグナルセットのピストルの電子音とフラッシュの発光でスタートの合図をします。
- 走者がクロックセンサーを横切ると自動的にタイマーが停止します。

### ②機器接続

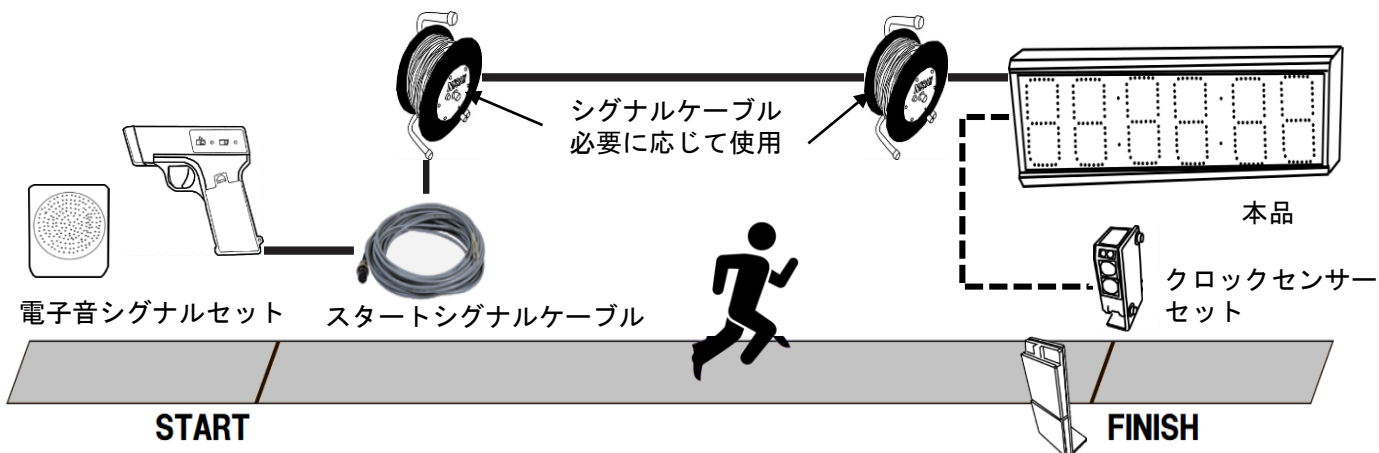
- 電子音シグナルセットのピストルの信号出力にスタートシグナルケーブルのピンジャックを接続します。  
反対側は、本品の[START INPUT]に接続してください。
- クロックセンサーのコネクターを本品の[FINISH INPUT]に接続します。

### ③使い方

- 操作用リモコンの[Reset]を押し、表示が[0:00]または[0.00]になっていることを確認します。
- [1]を押して表示[Id0 - 01]を確認します。
- 電子音シグナルセットのピストルの引き金を引くと、本品の計測がスタートします。
- 計測対象者がクロックセンサー前を通過すると、タイマーが自動停止します。
- 表示されたタイムを確認後、[Reset]を押し、初期表示に戻します。

※すべての機器を接続してから、表示盤の電源を入れるようにしてください。

最初に表示盤の近くでそれぞれ機器を接続し、動作を確認してから目的の位置に設置してください。





# 電子音シグナルセット・レースクロックⅡ・クロックセンサーセットについて 付 録



## 電子音シグナルセット

NT7502

紙雷管を使わないスタートピストルです。  
音は3種類から選択できます。  
音のほか、LEDのフラッシュでスタート合図  
を目視できます。  
単体での使用が可能です。

スタート音の確認はこちら  
<https://youtu.be/jR6YXXUPGZ8>



## レースクロックⅡ (本品)

NT7504B

付属のリモコンでリモート操作が可能な簡  
易タイマーです。  
表示にLEDを使用し、屋内外を問わず高い視  
認性を発揮します。オプションのクロック  
センサーセットと連動させることができま  
す。  
単体での使用が可能です。



## クロックセンサーセット

NT7503

レースクロックⅡのオプションです。  
クロックセンサー間の赤外線を通すると  
信号がレースクロックⅡに送られ、フィ  
ニッシュ（またはスタート）信号を入力し  
ます。

## スタートシグナルケーブル

NT7505



電子音シグナルセットのオプシ  
ョンです。

ピストルからのスタート信号を、  
レースクロックⅡに入力するた  
めに使用します。



## シグナルケーブル (100m)

NT7506

## シグナルケーブル (20m)

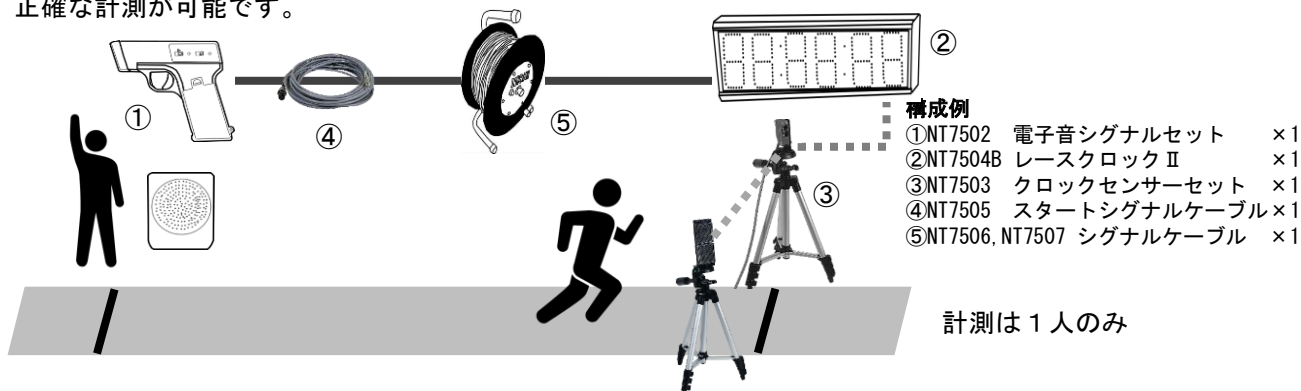
NT7507

レースクロックⅡのオプションです。  
電子音シグナルセットまたはクロッ  
クセンサーの信号を、延長してレー  
スクロックⅡに入力するために使用  
します。

## 組み合わせ例

### タイム計測が1回の場合 (レースクロックⅡ設定: Id0-01)

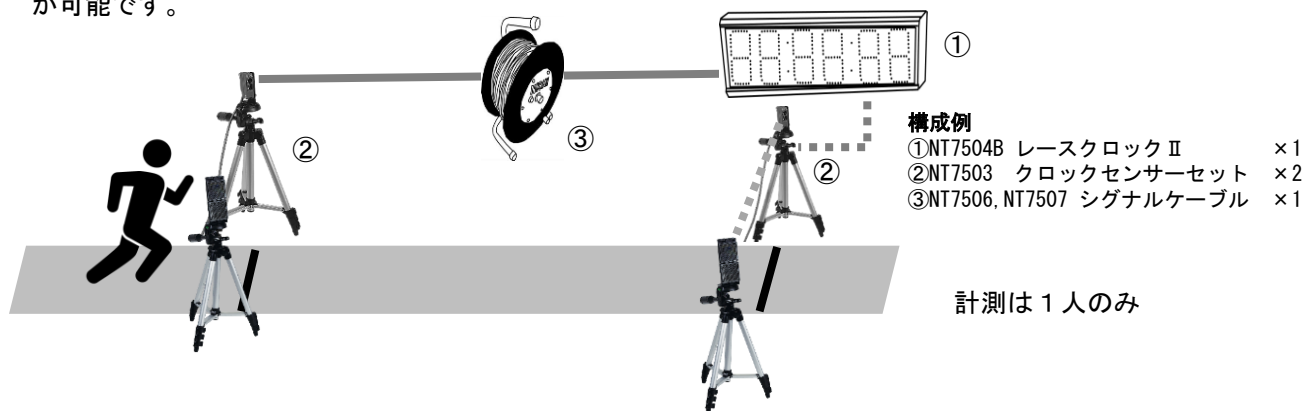
スタート信号はピストルから、ストップ信号はクロックセンサーから、それぞれ自動で入力されるため、正確な計測が可能です。



### 電子音シグナルセットを使用しない場合 (加速走でのタイム計測など)

(レースクロック設定: Id0-01)

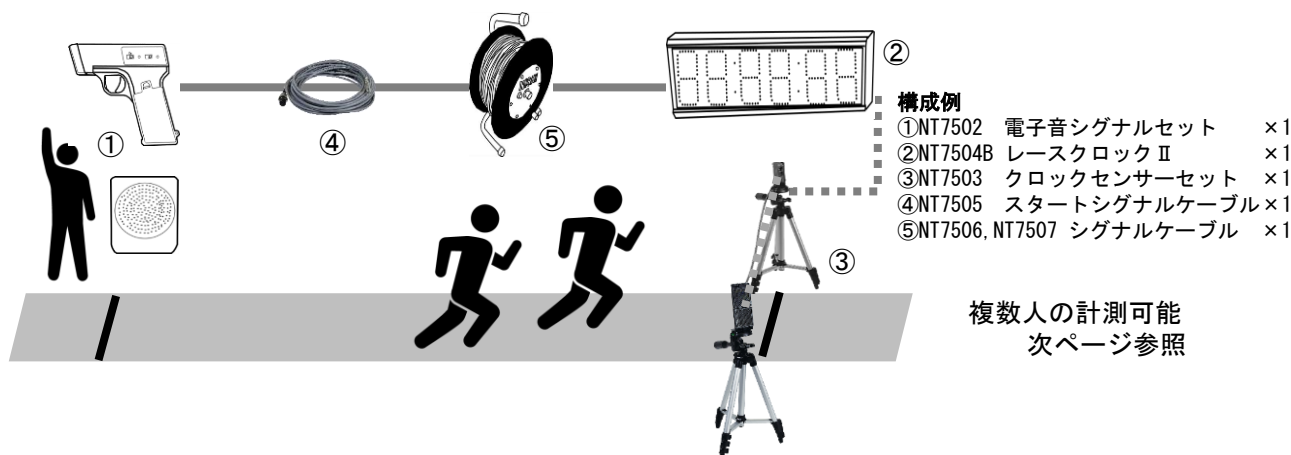
スタート、ストップ信号はクロックセンサーから自動でレースクロックⅡに入力されるため、正確な計測が可能です。



### 複数回計測や途中経過時間 (スプリットタイム) 計測したい場合

(レースクロックⅡ設定: Id0-99)

使用する機器はタイム1回計測と同じです。タイム複数回計測の場合は、レースクロックⅡの設定変更が必要です。また、個別タイム (途中経過時間) は後からリモコンの▲▼キーで確認できます。





## Q&amp;A

## Q. 複数人で同時にフィニッシュしても個別に測定されますか？

- A. レースクロックⅡの設定が途中経過時間計測時のみ可能です。  
 クロックセンサー間の赤外線が遮断されるとレースクロックⅡに信号が入ります。  
 そのため、赤外線が遮断されている間は次の信号がレースクロックⅡに入りません。  
 赤外線が遮断されている間に複数人がフィニッシュしても、最初に通過した選手の  
 タイムのみ計測されます。

斜めから見た図



上から見た図



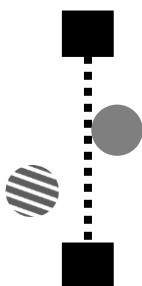
同着のため、タイムの計測は1回のみです。



赤外線が切れている間に通過するため、

のタイムは計測されません。

のタイムのみ計測されます。



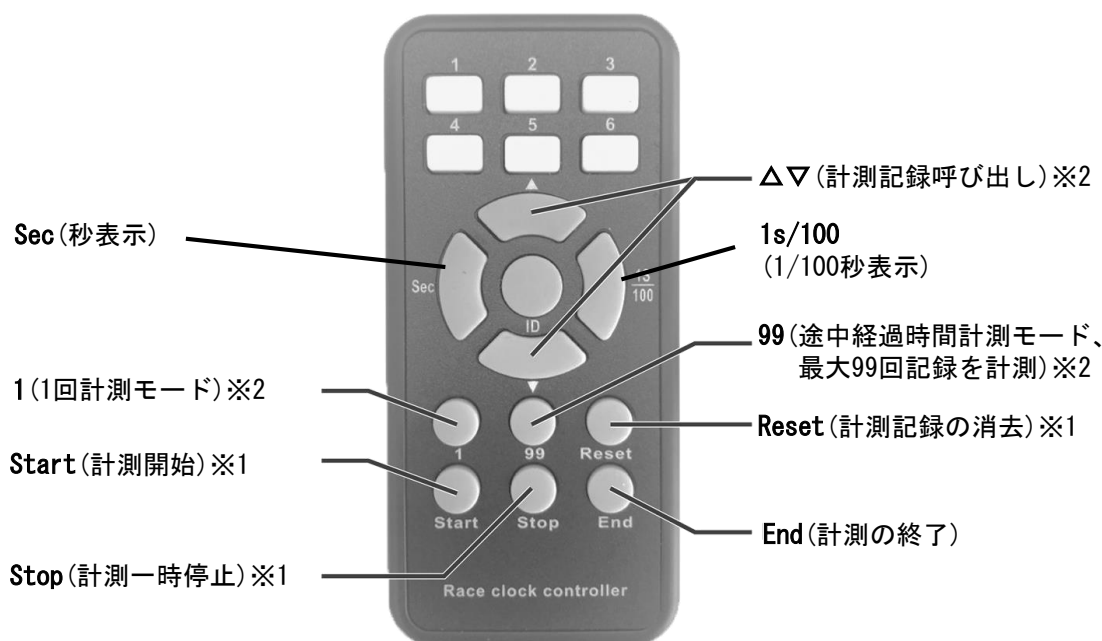
が通過してタイムを計測した後、

赤外線が繋ぎ直されてから の通過する

ため、 のタイムも計測されます。

## Q. レースクロックⅡの操作用リモコンではどんなことができますか？

- A. スタート、ストップ、リセットのほか、1回計測から途中経過時間計測へレースクロックⅡの設定が変更できます。  
途中経過時間計測の場合、個々の計測タイムの確認操作も操作用リモコンで行います。



- \*1 表示盤本体での操作も可能です。  
\*2 表示盤本体での操作はできません。

※記載のないボタンは使用しません。

## Q. 複数回での計測はできますか？

- A. 99回までタイム（スタートからの途中経過時間）の計測が可能です。  
設定の変更手順は以下のとおりです。

### 1回計測から複数回計測に切り替える場合

- ①操作用リモコンの99を押す。
- ②表示が「Id0-99」になったことを確認する。



### 複数回計測から1回計測に切り替える場合

- ①操作用リモコンの1を押す。
- ②表示が「Id0-01」になったことを確認する。

